

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>1. 部会全体会議 1/17 14:30～15:45 於 (株) 花王 すみだ事業場 2014 年度からの部会運営体制について 各分科会の活動報告および 2014 年計画 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会 チルド食品分科会設立準備委員会</p> <p>2. 勉強会 (1) 1/17 13:30～14:15 冷凍食品の大腸菌群規格について 19 名参加 講師 (株) ニチレイ 島原マネジャー (2) 1/17 16:00～17:20 CCFH MC 文書&実務事例紹介 19 名参加 講師 山口大学教授 豊福先生</p> <p>3. 芽胞菌分科会 (1) 1/23 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌検査方法の今後の方針 (2) 2/21 於 ILSI 会議室 耐熱性好酸性菌の情報共有</p> <p>4. MALDI-TOF/MS 分科会 (1) 1/30 於 花王茅場町会議室 講演会開催およびバイオメリュー社との菌株分譲に関する 打ち合わせ (2) 2/25 於 ILSI 会議室 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する勉強会</p> <p>5. 次回部会全体会議 4/15 又は 4/21 週</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 芽胞菌分科会 (1) 3/25 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌検査方法の今後の方針 耐熱性好酸性菌の危害情報の共有化</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会 (1) 4/4 於 ILSI 会議室 第 2 回 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する勉強会 2/25 於 ILSI 会議室 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する勉強会 (2) 来年開催予定講演会 部会への提案準備 (日程調整や先生への打診等)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>1. 部会全体会議 5/23 14:40～15:30 於 (株) ニチレイ本社 (1) 各分科会の活動報告 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会 (2) BeSeTo 会議について</p> <p>2. 勉強会 (1) 5/23 13:10～14:30 / 15:40～17:00 「次世代シーケンサーの衛生微生物分野への適用について」 講師 ライフテクノロジー社 / イルミナ社</p> <p>3. 芽胞菌分科会 (1) 5/13 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌の原料リスク情報の共有および検査法の検討、耐熱 性好酸性菌の増殖性リスク評価確認試験について</p> <p>4. MALDI-TOF/MS 分科会 (1) 5/15、6/19 於 ILSI 会議室 第 3、4 回 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する 勉強会 (2) 2015 年 6 月開催予定の講演会開催準備 (会場の仮予約等)</p> <p>次回部会全体会議 7/29</p>

7, 8 月	<p>1. 部会全体会議 7/29 13:10～14:40 於 アサヒグループ本社 (1)各分科会の活動報告 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会 (2)BeSeTo 会議について</p> <p>2. 勉強会 (1) 7/29 15:00～17:00 於 アサヒグループ本社 「第 2 回予測微生物勉強会」 講師 北海道大学大学院 小関先生</p> <p>3. 芽胞菌分科会 (1)7/16 於 ILSI 会議室 硫化黒変菌の原料リスク情報の共有、製糖技術アドバイザー訪問に関する議論および検査法の検討、耐熱性好酸性菌の増殖性リスク評価確認試験の経過確認</p> <p>4. MALDI-TOF/MS 分科会 (1)7/22、8/19 於 ILSI 会議室 第 5, 6 回 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する勉強会 (2)2015 年 6 月開催予定の講演会開催準備 (全体スケジュールとプログラム構成等の検討)</p>
9, 10 月	<p>1. MALDI-TOF/MS 分科会 (1)10/15 於 花王(株)栃木研究所、第 7 回 DB 登録用菌株のシーケンス同定法に関する勉強会 (2)2015 年 6 月開催予定の講演会開催準備</p> <p>2. 芽胞菌分科会 (1)9/8 於 ILSI 会議室 <i>Alicyclobacillus</i> 属の増殖性リスク評価確認試験の経過確認について、硫化黒変菌の原料リスク情報の共有、高温性芽胞細菌原料検査法の検討 10/23 於 ILSI 会議室 <i>Alicyclobacillus</i> 属の増殖性リスク評価確認試験の経過確認、砂糖工程のリスク現状まとめ、高温性芽胞細菌原料検査法のサンプリングプランの考え方とサンプリング量の決定、各社原料検出試験分担確認</p>
11, 12 月	<p>1. 部会全体会議 11/11 13:40～17:00 於 日本ハム(株)東京支社 (1) 各分科会の活動報告 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会 (2) 今後の活動について</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会 (1) 11/6 日本缶詰びん詰レトルト食品協会技術大会口頭発表「日本缶詰びん詰レトルト食品協会保有の耐熱性芽胞細菌の DNA 解析を用いた菌種同定結果」 (2) 12/9 於 ILSI 会議室 第 8 回 DB 登録用菌株シーケンス同定法に関する勉強会 (3) 2015 年 6 月開催予定の講演会開催準備</p> <p>3. 芽胞菌分科会 (1) 2015 年活動の方向性 (<i>Alicyclobacillus</i> 危害性のまとめ、原料検査法アウトプットの方向性) (2) 原料試験法・サンプリングプランの再確認</p>

食品安全研究会

【食品リスク研究部会】

1, 2 月	<p>1. WG 活動：3/6 の WG 会合に向けた準備。参加メンバーアンケート実施。</p> <p>2. 食品アレルギー部会長との打ち合わせ（1/30） <今後の予定：WG 合同開催 3/6, 13-17 時, 於 ILSI 事務局></p>
3, 4 月	<p>1. WG 活動：WG 会議開催（3/6,13-16 時半、於 ILSI 事務局）</p> <p>(1) 急性毒性スクリーニング 活動内容の提案。各社ヒアリングの実施。</p> <p>(2) プロバイオティクスの安全性 活動内容検討。今後勉強会開催予定。</p> <p>(3) 食品の安全性試験を考える会 食経験に関する議論内容共有化。</p>
5, 6 月	特になし
7, 8 月	<p>1. 各 WG 活動 プロバイオティクスの安全性評価 WG：勉強会準備。国立衛研・五十君先生に講演依頼。</p> <p>2. 次回の WG・部会準備。9/4 に開催予定</p>
9, 10 月	<p>1. 部会全体会議 9/4 13:00～14:30 於 ILSI 事務局 (ア) 各 WG 活動報告 (イ) 今後の活動について</p> <p>2. 勉強会 9/4 15:00～17:00 於 ILSI 事務局 「プロバイオティクスの安全性をどのように考えるか」 講師 国立医薬品食品衛生研究所 五十君静信先生</p> <p>3. WG 活動 1) 食品の安全性試験を考える会 9/4 10:00～12:00 於 ILSI 事務局 ・ 急性毒性スクリーニング ・ 安全性評価研究会より in vitro 肝代謝・毒性分科会の紹介</p> <p>2) 毒性学教育講座下巻作成 次回部会は 2015 年 1 月を予定</p>
11, 12 月	<p>特になし 次回部会は 2015 年 1 月を予定</p>

食品安全研究会

【食品アレルギー研究部会】

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

食品安全研究会

【香料研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【植物研究部会】

1, 2 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
3, 4 月	同上
5, 6 月	同上
7, 8 月	同上
9, 10 月	同上
11, 12 月	同上

*** 環境リスク評価分科会**

1, 2 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 14 号 (FEB 2014 号) 発刊。 2. 今後の調査報告の検討会。(1/29)
3, 4 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 15 号 (APR 2014 号) 発刊。 2. 調査報告集約版作成の委員会開催 (4/11)
5, 6 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 16 号 (JUN 2014 号) 発刊。 2. 調査報告集約版作成の委員会開催 (5/22)
7, 8 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 17 号 (AUG 2014 号) 発刊。 2. 調査報告集約版作成中
9, 10 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 18 号 (OCT 2014 号) 発刊準備。 2. 調査報告集約版作成中 3. 調査報告書データベース運用開始
11, 12 月	1. ERA プロジェクト調査報告第 19 号 (DEC 2014 号) 発刊。 調査報告集約版作成

*** アレルギータンパク質の分析方法分科会**

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	HESI タンパク質アレルギー部会 Ladic 部会長を迎えてワークショップ開催 (10/24 東京) 他に衛研手島先生、藤田保健大宇理須先生が講師。厚労省・食品安全委員会からも参加者。
11, 12 月	10/24 のワークショップのフォローアップ

*** 組換え体検知法分科会**

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし

5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

バイオテクノロジー研究会

◆バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<p>1. 部会開催 (1/7) ERA 調査報告勉強会</p> <p>2. 勉強会(2/5)</p> <p>3. オタワシンポジウムの内容 (吉倉先生)</p>
3, 4 月	<p>1. 部会開催 (3/14) ERA 調査報告勉強会</p>
5, 6 月	<p>1. 部会開催 (5/22) ERA 調査報告勉強会</p>
7, 8 月	<p>1. 部会開催 (7/23) ERA 調査報告勉強会</p>
9, 10 月	<p>部会開催 (9/30) ERA 調査報告勉強会</p> <p>10 月開催のインド支部の NBT 会合に先生方に出席していただいた 12 月に報告会予定</p>
11, 12 月	<p>部会開催 (12/4) ERA 調査報告勉強会</p> <p>NBT に関する国際動向のワークショップ開催 (12/3 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター) 農水省 鈴木室長、USDA Dr. Sally McCammon</p> <p>10 月開催のインド支部の NBT 会合に出席していただいた先生方を講師として開催。農水・環境・厚労・経産・文科・食安委の方や委員の先生方、学振などの先生方など約 100 名の参加者で行い筑波大大澤先生の司会でこの分野の意見交換を行った。</p>

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>第 8 回 ILSI Japan ライフサイエンスシンポジウム開催 2 月 20 日、13:00-18:00、於アーバンネット神田カンファレンス ・ 主題：「健康寿命の延伸につなげる行動変容の新たな切り口」 ・ 副題：「ライフステージにおけるヘルスリテラシーの構築へ」 ・ 演者：国立栄研 澤井享先生、東大 石川ひろの先生、女子栄大 堀江修一先生、東北大 笹野高嗣先生、筑波大 征矢英昭先生。 ・ 参加者 90 名。</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. 部会全体会議（3 月 18 日 15 時-17 時、於 ILSI 会議室、出席者 15 名）。 議題：第 8 回ライフサイエンスシンポジウム総括、14 度研究部会活動について、栄養とエイジング国際会議の企画への参加の仕方について、ほか。 2. 栄養とエイジング国際会議の演者探索作業</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>1. フラッシュレポート原稿提出：第 8 回ライフサイエンスシンポジウムのフラッシュレポート原稿を提出した（5 月 15 日）。 2. 第 2 回部会全体会議（5 月 20 日 15 時-16 時 30 分、於 ILSI 会議室、出席者 10 名）。 議題：栄養とエイジング国際会議の推薦演者候補の絞り込み。 3. 第 3 回部会全体会議（6 月 18 日 16 時-17 時、於 ILSI 会議室、出席者 13 名）。議題：第 2 回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会報告とプログラム案の部会内検討。セッション毎の担当者について。 次回部会予定：7 月末</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>1. フラッシュレポート：第 8 回ライフサイエンスシンポジウムのフラッシュレポートの「イルシー」誌第 118 号収載。 2. 第 4 回部会全体会議（7 月 28 日（月）15 時-17 時 00 分、於 ILSI 会議室、出席者 13 名）。議題：第 2 回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会報告とプログラム案の部会内検討。セッション毎の担当者の配置について。 3. 第 2 回栄養とエイジング国際会議準備関連：プログラム案のセッション別仕上げに向けた検討会開催（9 月半ばまで）調整。 次回全体会合予定：10 月 21 日（火）</p>
<p>9, 10 月</p>	<p>1. 栄養とエイジング国際会議関連 ① セッション別会議：プログラム委員会代表者およびセッション担当プログラム委員と担当部会員によるプログラムのブラッシュアップ作業を下記の会合にて実施した。セッションタイトル、プログラム構成、演者候補等の調整を図った。 ・ 先制医療としての栄養の最適化セッション（9/1、ILSI 会議室） ・ 不活動の生理学セッション（9/5、ILSI 会議室） ・ 食事の脳・神経機能セッション（9/9、国立健康栄養研究所） ・ 和食セッション（9/9、国立健康栄養研究所） ・ 腸内細菌の研究展望セッション（9/16、ILSI 事務局） ② 演者候補への講演依頼作業（継続中）</p>

	<p>2. 栄養研究部会全体会合（10/21、ILSI 会議室、出席者 13 名）</p> <p>議題：栄養とエイジング国際会議プログラム進捗報告、セッション会議報告、部会活動についての意見交換。</p>
11, 12 月	認知機能ワーキンググループ勉強会講師交渉（12/23）

栄養健康研究会

* GR プロジェクト

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	GR プロジェクト報告会 (6 月 27 日 14 時~17 時 15 分 於エレベーション麹町 出席者 28 名) (1) 研究報告 2 題 (2) 新メンバーの加入および ILSI Web サイトにおける GR プロジェクト会員ページの活用について (3) 総合討論
7, 8 月	GR 法プロトコール改善のための検討を行った。
9, 10 月	GR 法プロトコール改善のための検討を行った。
11, 12 月	GR 法プロトコール改善のための検討を行った。

栄養健康研究会

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	・ 1 月 28 日茶情報分科会開催。茶類の有効性・安全性情報の発信に関し、背景、発信内容および伝え方について、情報交換ならびに議論を行った。
3,4 月	・ 3 月 27 日、茶情報分科会を開催。茶類の有効性・安全性情報の発信方法について意見交換を行った。茶成分データベース拡充に関連し、茶葉収集の際の必要試料量等の見直しを行った。特別プロジェクト会員により、進捗確認と情報交換を行った。
5,6 月	・ 5 月 16 日、茶情報分科会を開催。茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの進捗確認と成果の発信法に関する意見交換を行った。茶成分データベース拡充に関連し、茶葉収集準備の進捗報告を行った。
7,8 月	8 月 22 日、茶情報分科会を開催。 (1) 9 月末に茶情報データベース拡充を目的とした中国茶葉試料サンプリングを実施予定。計画内容について確認を行った。 (2) 茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの進捗と論文の投稿先について確認、広報活動に関する意見交換を行った。
9,10 月	9 月末に茶情報データベース拡充を目的とし、中国にて、茶葉試料調製法の検討と試料採取を行った。 10 月 10 日、茶情報分科会を開催し、試料採取に関する報告と、試料の保管および分析についての方針や次回の試料採取までの課題について意見交換を行った。
11,12 月	12 月 19 日、茶情報分科会を開催、茶成分データベースに対応する茶葉試料の保管体制についての確認と今後の分析体制についての意見交換を行った。

ILSI Japan 活動報告<2014>

食品機能性研究会

◆食品機能性研究部会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	

*脳機能分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*免疫能分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*ロコモ分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

食品機能性研究会

◆寄付講座「機能性食品ゲノミクス」

1, 2 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 参加企業決定。
3, 4 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。
5, 6 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。
7, 8 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。
9, 10 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。
11, 12 月	・ 第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

<p>1, 2 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/14, 15, 16, 17, 21, 23 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>1/27-28 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市仮設南境第6団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>2 月 TAKE10®冊子改訂第5版、DVD 統合版発行</p> <p>2/14 墨田区特定高齢者事業「口腔機能向上プログラム」講義 「食べて生き生き術」 (講師: 木村美佳、墨田区役所)</p> <p>2/17-19 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (講師: 木村美佳、島根県益田市)</p> <p>2/26-27 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市仮設南境第2団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上町大須地区集会所)</p> <p>2/4, 18, 19, 20, 21, 27 「すみだテイクテン 第9期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>3/4-6 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (講師: 木村美佳、島根県益田市)</p> <p>3/24-26 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上町大須生活改善センター)</p> <p>4/1 墨田区「すみだテイクテン」事業委託契約締結 (平成26年度)</p> <p>4/21-22 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上町大須生活改善センター)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/1 平成25年度「すみだテイクテン」事業終了報告 (墨田区役所)</p> <p>5/13,14,15,16,20,29 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>5/20-21 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、長尾地区集会所、北上町大須生活改善センター、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>6/10,11,19,20,24,26 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>7/9, 15, 17, 18, 24, 29 「第10期すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>7/21 墨田区広報誌「すみだ」で、26年度「すみだテイクテン」 初心者教室の募集開始</p> <p>7/23-24 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、長尾地区集会所、北上町大須生活改善センター、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>7/28 世田谷区主催介護予防教室 (講師: 木村美佳、上北沢まちづくりセンター)</p> <p>8/29 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会</p>

	「日本人の低栄養を改善しよう～なにをどれだけ食べたらよいか～」(講師：人間総合科学大学保健医療学部長・大学院教授 柴田博先生、墨田区役所すみだリバーサイドホール)
9, 10 月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/10,11,12,24,25,26,30「第 10 期 すみだテイクテン本教室」(墨田区 4 会場)</p> <p>9/2,3,4,9,18,19「第 10 期 すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場)</p> <p>9/8-9 震災被災地支援：いしのまきテイクテン(講師：木村美佳、長尾地区集会所、北上町大須生活改善センター、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>9/27 住友生命健康財団コミュニティスポーツ推進助成プログラム助成金贈呈式</p> <p>10/8,9,10,14,22,23,24,28「第 10 期 すみだテイクテン本教室」(墨田区 4 会場)</p> <p>10/1,2,7,17,21,30「第 10 期 すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区 6 会場)</p> <p>10/7 震災被災地支援：いしのまきテイクテン(講師：木村美佳、北上町大須生活改善センター、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>10/10 震災被災地支援：「元気はつらつ健康習慣セミナー」(石巻専修大学主催、講師：木村美佳、石巻総合体育館)</p> <p>10/31 住友生命健康財団コミュニティスポーツ推進助成プログラム 2013 年度報告</p>
11, 12 月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>11/5, 6, 7, 11, 25 「すみだテイクテン 第 10 期講習会(初心者向)」(墨田区 4 会場)</p> <p>11/4,12,18,20,21,27「すみだテイクテン 第 10 期フォローアップ教室」(墨田区 6 会場)</p> <p>11/11 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師：木村美佳、篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>11/17 墨田区介護予防サポーター養成講座 講義「栄養改善」(講師：木村美佳、墨田区役所)</p> <p>12/1-2 震災被災地支援：いしのまきテイクテン(講師：木村美佳、石巻市仮設南境第 2 団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>12/8-10「テイクテン介護予防リーダー養成講座」(講師：木村美佳、岩国市・山口県)</p> <p>12-16-18「テイクテン介護予防リーダー養成講座」(講師：木村美佳、岩国市・山口県)</p> <p>12/24 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! 講習会(講師：木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>12/9,10, 16 18, 19, 25「すみだテイクテン 第 10 期フォローアップ教室」(墨田区 6 会場)</p>

CHP

【Project SWAN(Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	SWAN3 の導入地域として、ナムディン省 12 か所、ターイグエン省 4 か所、バクザン省 1 か所が選定され、準備調査が行われた。
3, 4 月	3 月 味の素「食と健康」国際協力ネットワーク ”AIN (Ajinomoto International Cooperation Network for Nutrition and Health)”による採択決定 (SWAN3)
5, 6 月	報告事項なし
7, 8 月	7-8 月 SWAN3 を 3 つの省で実施 (Nam Dinh 省、 Thai Nguyen 省、 Bac Giang 省・ベトナム)
9, 10 月	9/12, 13, 15, 22, 23 団結式 (タイグエン省 5 村) 9/23 団結式 (バクザン省 5 村) 10/28, 30 省行政を対象とした乳幼児の栄養及び食品安全に関わる研修 (講師: ベトナム国立栄養研究所職員、バクザン省及びタイグエン省)
11, 12 月	11/3-5 乳幼児の栄養及び食品安全に関わる研修 (省行政担当者対象、バクザン省) 11 月 乳幼児の栄養及び食品安全に関わる研修 (省行政担当者対象、ターイグエン省) 11/14-17,18-21,22-25,26-29,30-12/3 乳幼児の栄養及び食品安全に関わる研修 (5 村の地域ヘルスワーカー対象、参加者 128 名、ターイグエン省) 11/10-11, 2-13,17-18,19-20,24-25 乳幼児の栄養及び食品安全に関わる研修 (5 村の地域ヘルスワーカー対象、参加者 224 名、バクザン省)

CHP

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	<p>1 月 鉄・リジン強化米の 3 か月間の介入試験結果評価(バンガロール、インド)。 1-2 月 フィリピン FNRI が、米を鉄分とリジンで強化する為のプレミックスの本格的製造と評価を進める (マニラ、フィリピン)</p>
3, 4 月	<p>3 月 鉄及びリジンの強化予備試験の結果、リジン強化によりタンパク質欠乏の学童 (女子) の握力が高まる傾向が示された (バンガロール、インド) 3-4 月 鉄、亜鉛、リジンを強化したプレミックスを開発、テスト製造 (マニラ、フィリピン)。貯蔵試験を開始 (上海、中国)。 4 月 鉄、亜鉛、リジン強化米介入試験のプロトコールを作成中 (ベトナム)</p>
5, 6 月	<p>5 月 : 改良型 SunActive 鉄 (微細ピロリン酸第二鉄) を含む鉄強化米の簡易味覚テスト実施。 6 月 : 「第 1 回栄養強化米の開発と市場導入促進のための多国間コンソーシアム会議」の準備。 6 月 : 外務省主管の H26 年度国際開発協力関係民間公益団体補助金(NGO 補助金)の「国際協力関連事業」分野へ応募。</p>
7, 8 月	<p>7/3-4 ILSI Japan CHP 主催「第一回栄養強化米の開発と市場導入促進のための多国間コンソーシアム会議」 (ハノイ・ベトナム) 8/26-28 WHO 主催 “Consultation: Fortification of condiments and seasonings with vitamins and minerals in public health: from proof of concept to scaling up” に中西、高梨が出席 (ニューヨーク)</p>
9, 10 月	<p>9-10 月 フィリピン、ミンダナオ州で鉄強化米の販売開始準備 9/16-20 “Scale UP Rice Fortification in Asia” Workshop(国連 WFP 主催、バンコック・タイ) 出席者 : 9 ケ国の行政、学会、産業界の関係者 180 名。 ・栄養強化米がアジアにおいて栄養改善のための重要であることが強調され、参加各国の導入が議論された。ILSI として栄養強化米の研究、開発、導入を進めていることを紹介し、共同で強化米を更に進めることを約束。</p>
11, 12 月	<p>11-12 月 ベトナム : 鉄と亜鉛の強化米をマーケットで実証試験を実施するために、ベトナム国立栄養研究所が中心となり試験用プロトコールを開発中。倫理委員会の承認を得て、2015 年第 2 四半期には、実証試験を開始予定。 フィリピン : ミンダナオ地区で、鉄剤の擬似米 (プレミックス) を商業生産するエクストルーダーを現地精米工場に設置決定。2015 年 3 月に、プレミックスの試運転開始。他の精米業者で強化米を製造するブレンダーを設置中。3 月に製造を開始する。</p>

ILSI Japan 活動報告<2014>

CHP

◆CHP 全体

1, 2 月	1 月 ニューズレター（英語版）発行（No.18）
3, 4 月	3/27 平成 26 年度 CHP 活動報告会（ILSI Japan プロジェクト基金）
5, 6 月	報告事項なし
7, 8 月	7/22 ニューズレター（日本語版）発行（No.19） 8/26 ニューズレター（英語版）発行（No.19）
9, 10 月	
11, 12 月	12 月 ニューズレター（日本語版）発行（No.20）

国際協力委員会

<p>1, 2 月</p>	<p>2014 年第 1 回会議 (1/10 15:00 – 16:30) 参加者 20 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 農林水産省プロジェクト国際会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月 4, 5 日 Sedona ホテル (ヤンゴン) ・ 1 日目: (公開) 日本からのプレゼンは農水省、厚労省、消費者庁からを予定 ・ 2 日目: (非公開円卓会議) 農水省、厚労省、消費者庁、ILSI Japan、ILSI 東アジア、CLMV (カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム各国行政官) 2) 農水省プロジェクト進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国: 1 月中に追加資料あり ・ 台湾: フレームワーク (法体系) については作成中 ・ ILSI SEAR (アセアン) からは全部揃ってから ・ 韓国: 昨年大幅改訂があったため、資料作成が遅れている ・ インド: 栄養機能表示は英文の資料があるので、インドからの資料到着を待たずに作業を進める 3) データベース化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農水省は、委託事業として専門業者に発注する方針 ・ コンテンツは ILSI が提供する 4) 新規メンバー <ul style="list-style-type: none"> ・ 長瀬産業(株)が ILSI Japan に新規参加。国際協力委員会に参加を希望 <p>第 2 回会議 (2/5 15:00 – 16:30) 参加者 19 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 農林水産省プロジェクト国際会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当委員会からの参加者: 山口、浜野、平川、細野、金子、香村、大島、関谷、滑川、土屋、高橋 (敬称略) 2) 農水省プロジェクト進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ スリランカ、韓国以外は、資料がそろった ・ 韓国担当に大木氏追加、中国担当に梅木氏追加 ・ アセアン担当に篠原氏、吉村氏追加。10 か国を 6 名で分担する (報告内容が少ない国については複数国担当)。片嶋班長と細野代理で相談し担当分けをする 3) ILSI 本部総会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域 15 支部から合計 300 名弱が参加。日本からは本部理事 2 名、事務局 5 名、HESI 4 名参加。 ・ 昨年設立された台湾が初参加。活動は高い評価を得ている。 ・ Meso-America 支部 (中米カリブ海諸国) 設立が承認された。 ・ 北米支部のセッションで、科学の信頼性が揺らいでいる問題について提言があった。 ・ 各支部のセッション資料、ポスターは、本部のウェブサイトに掲載されているので参照してほしい。 4) 第 6 回 BeSeTo 会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年 7 月 8 日 (火)、9 日 (水) 東京 (or 沖縄) で開催。
---------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Agenda は 4-5 月に固める ・ 中国から食品微生物規格を議題にするとの提案があった。 <ul style="list-style-type: none"> － 微生物研究部会とのジョイントも考える。 <p>第 3 回会議 (2/26 15:00 – 15:40) 参加者 17 名</p> <p>1) 農林水産省プロジェクト国際会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本から 15 名参加 (内、行政から 3 名) ・ 会議参加者は全部で約 50 名になる ・ 報告書 (「イルシー」に掲載) は高橋氏が執筆。 <p>2) 農水省プロジェクト進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スリランカ、韓国の資料が届き、全て揃った。 ・ 日本語訳を 3/14 (金) までに会員サイトにアップロード ・ 機関名は英語を残しておく ・ 国ごとにまとめ、3/31 or 4/1 に農水省に提出 <p>3) 26 年度の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/27 に山口氏と浜野氏が農水省を訪ね、情報を入手する。 <p>4) BeSeTo 会議のテーマ (山口氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセアン、インド、台湾も参加する。 ・ 中国からの食品微生物規格を議題にするとの提案に関して、微生物研究部会に打診したところ、MALDI-TOFMS 分科会で「興味あり」とのことであった。コラボを考える。
3, 4 月	<p>第 4 回会議 : 3 月 26 日 (水) 15:00 – 16:40 出席者 : 計 13 名 内容 :</p> <p>1) 農水省プロジェクト進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養表示一覧表 : 日本語英語併記、英文アブストラクトを加えることにした <p>2) 農林水産省プロジェクト国際会議 (ミャンマー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書 (「イルシー」に掲載) は高橋氏が執筆 ・ 来年の会議は、カンボジアあるいはベトナムを予定 <p>3) 平成 26 年度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今月中に農水省から情報が出る見込み (5 月にずれ込み) <p>4) 第 6 回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7/8-9、東京で開催の予定 (9/25-26 に変更) ・ 初日の午前に公開セミナーを開催、「食品微生物規格」をテーマとして考えている ・ 農林水産省プロジェクトに関する事項も含め、5 月を目処に議題を固める <p>5) CCFA (Codex 食品添加物会議) 報告 (平川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/17-21 香港で開催、参加者約 250 人 ・ 食品添加物摂取量のシンプルな評価のためのガイドラインの改定 (Step 5/8) : 日本への影響は少ない <p>香料物質の用語統一 : 表示ガイドライン</p>
5, 6 月	<p>1. 第 5 回委員会</p> <p>日時 : 2014 年 5 月 9 日 (金) 15:00 – 16:40 出席者 : 15 名 議事 :</p>

1) 平成 25 年度農水省プロジェクト

- ・ 報告書（資料(1)）：日本語英語併記
- ・ ILSI Japan ウェブサイトで公開
<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/Com-W.php#H25>
- ・ データを活用して欲しい。元データ（PDF、PowerPoint）が必要な方は浜野委員長まで。

2) 平成 26 年度農水省プロジェクトについて

- ・ 委託事業参加者募集の公示が遅れている。
- ・ スケジュール見込：計画書提出（5 月末）、入札 6 月初、予算執行（6 月中旬以降）
- ・ 現在、計画書案作成準備中（浜野氏）
- ・ 国際会議（11 月インド、2 月東京）を計画中

3) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京で開催の予定。
- ・ 初日の午前に公開セミナーを開催する予定。
- ・ 議題の 1 つとして「食品微生物規格」を取り上げる。
- ・ ILSI Japan 食品微生物部会とのコラボレーションを、5/23 の微生物部会で、山口事務局長が提案する。

4) CCCF（Codex 汚染物質部会）報告（山口事務局長）（資料(3)）

- ・ 3/31-4/4 オランダで開催、参加者約 210 人
- ・ 詳細は、配布資料、「イルシー」誌 No.118（7 月刊行予定）参照

2. 第 6 回委員会

日時： 2014 年 6 月 3 日（火） 15:00 – 16:30

出席者：15 名

議事：

1) 平成 26 年度農水省プロジェクトについて

- ・ 5/28 公募公示、6/2 入札説明会（ILSI の他、未来工業研究所、工業市場研究所、テイクコが説明会に出席）
- ・ 6/11 までに提案書及び入札書提出、6/12 提案説明、6/13 開札、委託業者決定、

2) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京で開催の予定。
- ・ 議題の 1 つとして「食品微生物規格」を取り上げる。
- ・ 日本からのプレゼン候補：豊福肇教授（山口大）、工藤由紀子室長（国衛研）
- ・ ILSI 東南アジアの Ms. Pauline Chan と 7 月に打合せ予定。

3. 第 7 回委員会

日時： 2014 年 6 月 26 日（木） 14:00 – 16:30

出席者：16 名

議事：

- 1) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」について

(ア) 経過

- ・ 6/11 に提案書、入札書を提出（提出者は ILSI Japan のみ）、6/12 にプレゼン
- ・ 6/13 開札、ILSI Japan に委託決定
- ・ 総合入札制：技術点 96 点/100 点満点、価格点 5 点/50 点満点、6/25 契約締結

(イ) 調査内容等

- ・ 農水省の意図は、「日本製品を東アジアに売り込むためのツールとしたい」
- ・ 調味料類（味噌、醤油）、清涼飲料水（ジュース、ミネラルウォーター）、アルコール飲料（日本酒、焼酎、ビール）、健康食品（手持ちデータでカバー可能）、乳製品（チーズ、バター）、食品表示（基本事項、アレルギー、GMO 等）、残留農薬（果実：リンゴ、ナシ、モモ、温州ミカン、ブドウ、カキ、イチゴ、メロン、茶、野菜：ナガイモ、カンショ、キャベツ、ダイコン、レタスの各国における輸入規制値）
- ・ 調査対象国（地域）に香港が追加された。法的枠組み、規格基準を調査する。
- ・ ILSI 支部に調査を依頼する（東南アジア、中国、韓国、台湾、インド）

(ウ) スケジュール

- ・ 報告書は 3/14 までに提出
- ・ データの入手、記入は、できれば 11 月までに終了させたい。（データベース化を外注するため）
- ・ 国際会議（11 月インド、2 月東京）を開催予定

(エ) データベース

- ・ 平成 24 年度、25 年度および本事業の調査内容をデータベース化する
- ・ 外注（再委託）する予定

(オ) 調査項目別担当

- ・ 日本の規格基準を基に質問票（英文）を作成する
- ・ 味噌・醤油（杉崎）、清涼飲料（金子）、健康食品（浜野）、乳製品（大島）、アルコール飲料（細野）、食品表示（浜野）
- ・ 香港（梅木）：Dr. Junshi Chen に問合せる
- ・ 残留農薬：各国での輸入品の残留農薬基準について、全体の枠組みおよび個別基準を調べる

2) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京（全共連ビル）で開催。
- ・ 議題（案）
 - ・ 食品安全・事故事例：マルハ・ニチロ事件（案）
 - ・ リスクアセスメント
 - ・ 規制：食品表示基準改正の進捗、HACCP の導入
 - ・ 各支部共同活動
 - ・ 農水省プロジェクトの説明（依頼事項）
- ・ ワークショップ
 - ・ 微生物関連課題（ILSI Japan 微生物研究部会からの提案）：各国の微生物規格基準のある食品の分類、フードチェーンにおける適用箇所、規格基準の位置づけ（規制か自主規格基準か?）、試験法?

セミナー演者：大学、国立研究所の先生（案）

7, 8 月	<p>1. 第 8 回委員会 日時：7 月 29 日（火）14:00 – 16:00 出席者：計 16 名 議事： 6) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」： a) 経過、b) 調査内容等、担当者の確認、情報共有、c) インド会議スケジュールの確認、d) データベース 7) 第 6 回 BeSeTo 会議及びワークショップ ・9 月 25 日(木)、26 日(金)、東京（JA 共済ビル）で開催。 8) その他 ・APEC（アジア太平洋経済協力会議）で産官共同ワーク（Public Private Partnership）の一つとして、APEC 各国の食品法規ハーモニゼーションに向けた取り組みが提案されている。まさに ILSI が行っている東アジアプロジェクトに相当するものであることから、APEC に ILSI プロジェクトを紹介する場を設けた。ILSI 全体並びに各地域での共同プロジェクトを紹介する資料を作成した</p> <p>2. 第 9 回委員会 日時：8 月 21 日（木）15:30 – 16:30 出席者：計 15 名 議事： 1) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」 ・調査内容等、情報共有 ・インド会議（12 月 9、10 日）：インドの会議では、周辺国の政府代表を招待する。 2) BeSeTo 会議 ・9 月 25 日(木)、26 日(金)、東京（JA 共済ビル）で開催。 ・議題（案） - リスクアセスメント：食品安全委員会より最近の話題提供。 - 規制：栄養表示基準、栄養機能性食品（新機能）に関わる部分について、浜野氏がまとめる - 各支部共同活動：アジア栄養学会議の情報交換を希望（山口） - 農水省プロジェクトの説明（依頼事項） - 新規食品添加物指定の紹介については、日本食品添加物協会脊黒常務理事にデータの収集、プレゼン資料作成を依頼する。 ・ワークショップ - 微生物関連課題とする。 - セミナー演者：豊福先生（山口大）。</p>
9, 10 月	<p>1. 第 10 回国際協力委員会 日時：2014 年 9 月 19 日（金）16:00 – 17:00 出席者：計 14 名 議事：BeSeTo 会議のスケジュール、平成 26 年度農水省プロジェクト、農水省台湾プロジェクト</p> <p>2. 第 6 回 BeSeTo 会議及び第 3 回サテライトシンポジウム (ア) サテライトシンポジウム ”Microbial Criteria in Foods” ・9/25（木）10:00–13:00 JA 共済ビル - 進行役：山口氏 - 日本：豊福肇教授（山口大学）、韓国：Dr. Gyeong Kim、中国：Dr. Yunchang Guo (イ) BeSeTo 会議 1 日目（JA 共済ビル、進行役：浜野氏） ・9/25（木）14:30–16:00：セッション 1（リスク評価） - 日本：姫田尚氏（食品安全委員会）、韓国：、中国： ・9/25（木）16:15–17:45：セッション 2（規制） - 日本：浜野氏、梅木氏、韓国：、中国： (ウ) BeSeTo 会議 2 日目（JA 共済ビル、進行役：浜野氏）、 ・9/26（金）10:00–11:30：セッション 3（安全性、事故例） - 日本：なし、韓国：、中国：、台湾：Dr. Emily Kao</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9/26 (金) 13:00-14:55 : セッション 4 (支部間協力) <ul style="list-style-type: none"> - 昨年度農水省プロジェクトのレビュー、アジアの栄養健康機能表示 - 今年度農水省プロジェクトの進め方、今後の展望 ・ その他 (記録) : 会議議事録 : 平川氏、「イルシー」誌への執筆 : 土屋氏・二上氏 (ヤクルト) <p>3. 第 11 回国際協力委員会 日時 : 2014 年 10 月 17 日 (金) 15:00 - 16:20 出席者 : 計 14 名 議事 : BeSeTo 会議 (9/25-26 開催)、農水省プロジェクト (平成 26、27 年度)</p>
11, 12 月	<p>インド国際会議 (International Conference on Infrastructure Needs for a Food Control System: Roadmap for Regional Harmonization) を 12 月 9 日 (火) -10 日 (水) にインド、デリーにて開催。</p> <p>主催 : ILSI India, ILSI Japan 後援 : 農林水産省、インド FSSAI 及び EIC 参加者 : バングラデシュ、ブータン、インド、モルジブ、ネパール、スリランカ、シンガポール及び日本 (農林水産省、厚生労働省) の食品行政関係機関・研究所、FAO、食品業界から 108 名。</p> <p>内容 :</p> <p>セッション 1 : Food Control System in SAARC Countries セッション 2 : Codex and International Standards for Protecting Public Health and Ensuring Trade Practices in Food Trade セッション 3 : Promoting Harmonization of Food Safety Standards and Food Control System セッション 4 : Information and Communication パネルディスカッション : Infrastructure Needs to Promote Harmonization of Food Standards and Modern Food Control System for SAARC Countries</p> <p>なお、会議の概要についてはイルシー誌、詳細については ILSI India のホームページに掲載予定。</p>

【情報委員会】

1, 2 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 1 回 (1 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 2 号 (通巻 83 号) : 2/10 発刊 ・ 22 巻 3 号 (通巻 84 号) : 監修・編集中 (5/10 発刊予定) ・ 22 巻 4 号 (通巻 85 号) : 翻訳依頼中 (8/10 発刊予定)
3, 4 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (3 月、4 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 3 号 (通巻 84 号) : 5/10 発刊 ・ 22 巻 4 号 (通巻 85 号) : 翻訳・監修・編集中 (8/10 発刊予定)
5, 6 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (5 月、6 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 3 号 (通巻 84 号) : 5/10 発刊 ・ 22 巻 4 号 (通巻 85 号) : 監修・編集中 (8/10 発刊予定) ・ 23 巻 1 号 (通巻 86 号) : 翻訳中 (11/10 発刊予定)
7, 8 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (7 月、8 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22 巻 4 号 (通巻 85 号) : 8/10 発刊 ・ 23 巻 1 号 (通巻 86 号) : 監修・編集中 (11/10 発刊予定) ・ 23 巻 2 号 (通巻 87 号) : 翻訳中 (2015/2/10 発刊予定)
9, 10 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (9 月、10 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 23 巻 1 号 (通巻 86 号) : 監修・編集 (11/10 発刊予定) 23 巻 2 号 (通巻 87 号) : 翻訳・監修中 (2015/2/10 発刊予定)
11, 12 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 1 回 (11 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時)

3. 「栄養学レビュー」誌

- 23 卷 2 号 (通巻 87 号) : 監修・編集 (2/10 発刊予定)
- 23 卷 3 号 (通巻 88 号) : 翻訳中 (5/10 発刊予定)

*** 編集部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 116 号の発刊・「イルシー」誌 117 号の原稿査読・編集中
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 117 号発行、原稿査読・編集
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 117 号発行・「イルシー」誌 118 号、原稿査読・編集
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 118 号発行・「イルシー」誌 119 号、原稿査読・編集
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 119 号、原稿査読・編集
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">・「イルシー」誌 119 号、発行・「イルシー」誌 120 号、原稿査読・編集

事務局

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構の平成 26 年度通常総会が 2 月 20 日(木)10:00～11:20 アーバンネット神田カンファレンス 2A (2 階) で開催された。</p> <p>◎議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度事業活動報告書案 2. 平成 25 年度決算報告書案 3. 平成 26 年度事業活動計画書案 4. 平成 26 年度収支予算書案 <p>以上の議案が承認された。</p> <p>◎報告事項</p> <p>山口事務局長より下記事項について報告が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次期役員候補 2. ILSI 本部総会報告 3. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学寄附講座第 3 期が 25 年 12 月より開始されたと報告され東京大学阿部教授より挨拶があった。 ・ 資料に基づき、山口事務局長より「第 8 回 ILSI Japan ライフサイエンス・シンポジウム」が 2015 年秋に開催されると報告された。
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【事務局】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	<p>ILSI Japan 平成 27 年度総会が下記のとおり開催予定です。</p> <p>日時：平成 27 年 2 月 19 日(木)午前 10 時～</p> <p>場所：都道府県会館 (千代田区平河町 2-6-3)</p> <p>午後「平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業」の報告会を予定しています。</p>

【理事会】

1, 2 月	<p>2 月に第 1 回、2 回、3 回、4 回理事会が開催され以下の件が承認された。</p> <p>○平成 25 年度事業活動報告書</p>
--------	---

	<p>○平成25年度決算報告書 ○平成26年度事業活動計画書 ○平成26年度収支予算書 ○以下の次期役員を選任</p> <p><u>重任理事・監事</u></p> <p>重任 理事 木村 修一 重任 理事 桑田 有 重任 理事 西山 徹 重任 理事 岩元 睦夫 重任 理事 坂田 隆 重任 理事 高瀬 光徳 重任 理事 辻村 英雄 重任 理事 戸上 貴司 重任 理事 福島 昭治 重任 理事 松山 旭 重任 理事 安川 拓次 重任 理事 山口 隆司 重任 理事 古野 純典 重任 監事 伊藤 建比古 重任 監事 辻 智子</p> <p><u>新任理事</u></p> <p>新任 理事 若林 奏 新任 理事 清水 誠</p> <p><u>退任理事</u></p> <p>退任 理事 上野川 修一 退任 理事 益田 和明</p> <p>○以下の理事が理事長、会長、副理事長、常務理事に選任</p> <p>理事長 西山徹理事 会長 木村修一理事 副理事長 桑田有理事、高瀬光徳理事、福島昭治理事、 古野純典理事 常務理事 山口隆司理事</p> <p>○第7回「栄養とエイジング」国際会議を2015年秋に開催すること。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	<p>7月26日に第5回理事会が開催され以下の件が承認されました。</p> <p>【審議事項】</p> <p>第1号議案 第7回栄養とエイジング国際会議について 「第7回栄養とエイジング国際会議」を開催すること及び今後の進め方について承認された。</p> <p>1) 候補日時 第一候補として2015年10月1,2日第二候補として2015年9月28,29日 を考えている 場所 東京大学弥生講堂を考えている。</p> <p>2) 組織委員会の設置(ILSI Japan 理事) 理事・監事に委員を委嘱する</p> <p>3) プログラム委員会、栄養研究部会によるプログラム作成を進めている。</p> <p>4) 財務委員会の設置及び財務委員会委員長にサントリーホールディング(株)辻村英雄氏 就任することが承認された。</p>

	<p>第 2 号議案 ILSI Japan 賛助会員細則設定 「ILSI Japan 賛助会員細則」を提案し承認された。</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. アジア栄養学会議（2015 年 5 月 14 日～18 日、横浜）</p> <p>1) プログラム委員会からの「ILSI セッション構築の依頼」を受け “Food Safety Program”セッション対応</p> <p>2) ILSI アジア支部の総意によりアジア地域での活動を紹介するセッションを設け、日本支部がまとめ役を担う。 ・“Micronutrient Fortification”セッション対応</p> <p>2. 最新栄養学第 10 版出版の件 第 10 版（2014 年 6 月 25,000 円） 750 冊発行</p> <p>3. ILSI Europe コンサイスモノグラフシリーズ「Probiotics, Prebiotics and the Gut microbiota 2013」の日本語翻訳を出版</p> <p>4. 農林水産省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」を受託</p> <p>5. BeSeTo 会議の開催（2014 年 9 月 25 日、26 日）</p> <p>6. GR プロジェクト報告会実施</p>
9, 10 月	
11, 12 月	<p>第 7 回理事会が平成 26 年 12 月 25 日（木）に 開催されました。</p> <p>○審議事項</p> <p>第 1 号議案 長期在庫図書処分について 過去約 2 年間販売のない図書について、（イルシー誌No.70～No.95 及び 2008 年迄に発行されたその他の図書 12 アイテム）を正味財産の健全化を図る為、処分したいと提案があり、質疑の後、可決承認した。</p> <p>○報告事項</p> <p>1. ILSI 本部総会の概要及び ILSI Japan からの報告事項について報告した。</p> <p>2. ILSI Japan 支部総会 支部総会で議案とする平成 26 年度事業活動報告書（案）、平成 27 年度事業活動計画書（案）を説明し次回理事会迄に各理事に内容の検討を依頼した。</p>